

マイクロミューズが2つの新製品を加えて BSM領域での更なる優位性を確立

OSSのトップベンダーとして 大手通信事業者を中心に 高い顧客満足度とROIを実現

通信事業者の業務を支えるOSS (Operation Support System) ソリューションのリーディングプロバイダーとして世界45カ国以上で販売を展開するなど、高い評価を獲得しているマイクロミューズ社。同社のコアコンポーネントである「Netcoolスイート」は、重要なビジネスサービスやアプリケーションサービスをサポートするITインフラストラクチャ全体をマネジメントするリアルタイム統合監視ソリューションとして、現在、世界各国の大手通信キャリアをはじめ、インターネット、ワイヤレス、ブロードバンドサービスなどの各種サービスプロバイダー、そしてエンタープライズ企業などに広く採用されている。

Netcoolスイートを導入した企業は、その理由として、主に「収益の増加」「経営効率の向上」「リスク管理」をあげている。それは、Netcoolスイートが提供するEnd to Endの監視・管理ソリューションが、SLA (サービス品質保証) の監

視および測定、新サービスの迅速な導入、ツールの統合と最適化、設備投資と運用コストの削減、異なるアーキテクチャの統合、セキュリティ情報の管理、顧客チャーンの低減などを実現しているからである。また、世界各国の大手情報通信キャリアがマイクロミューズ社の製品を採用している理由として、大きな損失を招くダウンタイムを回避するとともに、MTTR (修復にかかる時間) の短縮や稼働率の向上、リソースの縮小と生産性の向上などを実現して、

高い顧客満足度とROIを可能にしているからである。

ソリューション強化に向けて 新たなレイヤーを対象とした 新製品の販売を開始

このマイクロミューズ社がさらなるソリューションの強化を図るため、新たに2つの製品をラインナップに加えた。1つがパフォーマンス管理製品「Netcool/Proviso」、もう1つがセキュリティインフォメーシ

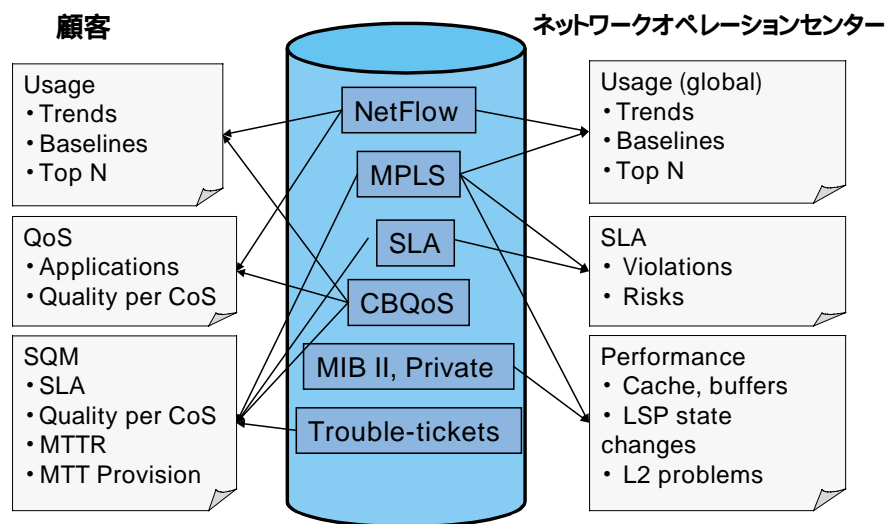


図1 Netcool/Provisoのデータソースとレポート

オン管理製品「Netcool/NueSecure」である。今回の新製品の発表について、マイクロミューズ・ジャパン(株)の代表である市原裕行氏は次のように語っている。

「米国の調査会社Heavy Reading社が2005年4月に発表したレポートにおいて、OSSソリューションのトップベンダーの認定をいただいた当社が、唯一課題としていたのが、パフォーマンスマネージメントのレイヤーです。この課題の解決策として、2005年6月に米国ボストンに本社を置くQuallaby社を買収しました。Quallaby社は、BTをはじめとした大手通信キャリアに向けて、優れたパフォーマンスマネージメントソリューションを提供してきたベンダーです。今回の買収に伴い、多くの実績を持つQuallaby社のソリューションを当社の製品ラインアップとして発表することになりました。また当社は、2005年8月に米国アトランタに本社を置くGuardedNet社を買収しました。GuardedNet社は、政府機関や各種サービスプロバイダー、エンタープライズ企業などに広く採用されている、セキュリティイベント管理ソフトウェア・プラットフォーム『NueSecure』を開発・提供しているベンダーです。このNueSecureは、SIM（セキュリティインフォメーション管理）と呼ばれる新たなセキュリティ分野を対象とした製品で、セキュリティデバイスのログデータを収集・分析することで、ネットワークの状況を可視化することができます。これまで当

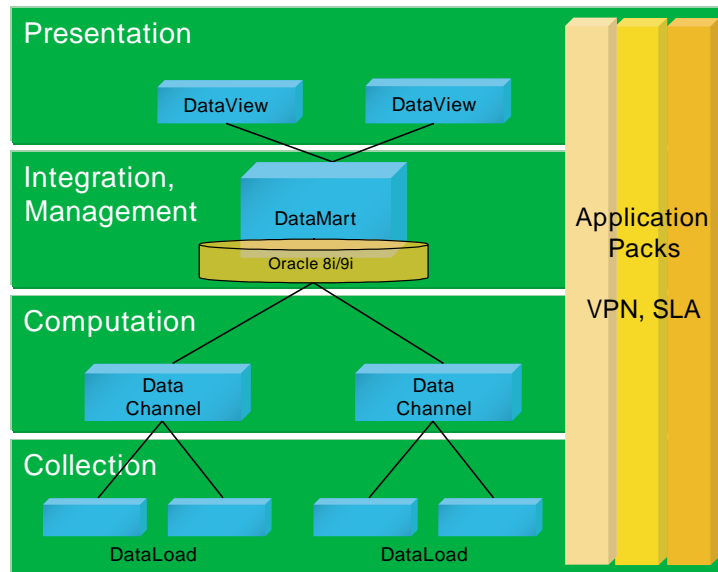


図2 Netcool/Provisoのアーキテクチャ

社は、IT事業運用者と彼らがサポートしているビジネスサービスを一体化したBSM（ビジネスサービスマネージメント）を可能にするソリューションを提供してきました。そして今回、新たなレイヤーを対象とした2つの製品がラインアップに加わったことで、BSMの領域における当社の優位性が、さらに確立されたと思います。」

OSS/BSS環境を一元管理する パフォーマンス管理製品 「Netcool/Proviso」

Netcool/Provisoは、主にネットワーク事業者、メガクラスのエンタープライズ企業向けのソリューションとして、拡張性に優れ、大規模ネットワーク環境でも充分に使用できる柔軟性にも富んでいる。また、数多くのデバイス、プロトコル、ネットワーク管理、ヘルプデスク、エレ

メント管理などとのインテグレーションと、他のNetcool製品ともインテグレーションが可能である。このNetcool/Provisoにより、パフォーマンス管理だけでなく、OSS/BSS（Operation Support System / Business Support System）の環境を一元的に管理することが可能なため、管理効率や顧客へのサービスを飛躍的に向上することができるようになる。

Netcool/Provisoのアーキテクチャは、4つのレイヤーから構成されている。各レイヤーが独立したコンポーネントになっており、優れた拡張性、柔軟性により、使用環境に合わせた構成をとることが可能である。また、一旦集められた情報は、相関処理、計算処理、グルーピングされ、セントラルデータベースに格納されるので、データの一元管理が可能である。

